

令和6年第3回港区議会定例会の質問について
(教育長答弁)

代表質問 (14問)

二島 豊司議員 (自民党議員団)

10 奨学金制度について

- (1) 貸付型奨学金の見直しの方向性について 【教育長室】
- (2) 財政上の担保について 【教育長室】
- (3) 奨学基金を外部に移すことについて 【教育長室】

さいき 陽平議員 (みなと未来会議)

3 少子化対策と子育て支援について

- (1) 見守りシステムについて 【学務課】
- (2) 地域の特色を生かした国際理解教育について 【教育人事企画課】

4 区立学校の魅力化について

- (1) 進路支援講座の拡充について 【教育人事企画課】
- (2) 魅力的な部活動の創設について 【教育人事企画課】
- (3) 区立中学校の広報強化について 【学務課】
- (4) 生成A Iの教育現場での活用について 【教育指導担当】
- (5) 教育行政の専門家の採用について 【教育人事企画課】

白石 さと美議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

3 児童・生徒の教育相談の充実について

- (1) スクールカウンセラーについて 【教育指導担当】
- (2) スクールソーシャルワーカーについて 【教育指導担当】

池田 たけし議員 (公明党議員団)

10 外国にルーツを持つ児童・生徒へのICT活用について

【教育指導担当】

兵藤 ゆうこ議員 (みなと政策会議)

13 金融教育について

【教育指導担当】

一般質問 (9問)

三田 あきら議員 (自民党議員団)

2 子ども、子育て及び教育について

(1) 保幼小の連携について

【教育人事企画課】

(2) フリースクールに通学する子どもに対する支援について

【教育指導担当】

6 神宮外苑イチョウ並木の名勝指定の協議を継続することについて 【図書文化財課】

やなぎわ 亜紀議員 (自民党議員団)

6 区立幼稚園の預かり保育について

【学務課】

9 中高一貫教育校について

【教育人事企画課】

10 学校の通知表について

【教育指導担当】

新藤 加菜議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

3 国際人育成のための教育について

【教育人事企画課】

なかね 大議員 (公明党議員団)

4 都立特別支援学校を利用した放課後等デイサービスの実施について

【教育指導担当】

福島 宏子議員 (共産党議員団)

9 海外修学旅行の検証について

【教育人事企画課】

令和6年第3回港区議会定例会の質問について

代表質問(14問)

議員名(会派名)	二島 豊司議員議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	10 奨学金制度について (1)貸付型奨学金の見直しの方向性について 【教育長室】
質問要旨	給付型奨学金の拡大を踏まえ、貸付型奨学金の今後の見直しの方向性について伺います。
答弁内容	給付型奨学金の創設により、貸付型奨学金の利用者数は減少したものの、両方の奨学金を併用し、利用している学生などもあることから、今後も継続的な事業実施が必要です。 事業の継続にあたっては、貸付条件の見直しを行うなど、単に困窮している世帯だけではなく、真に奨学金を必要とする世帯が利用できる仕組みについても、検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)財政上の担保について 【教育長室】
質問要旨	給付型奨学金は受給者が増加すれば、財政への負担が増加することとなりますが、財政上の担保はどのように理解すればよいか伺います。
答弁内容	給付型奨学金は全額、区の一般財源を原資としています。 現在の弾力性に富んだ区の財政状況を踏まえると、本年7月の制度拡充により、奨学金の利用が伸びた場合でも、財政的に担保することが可能と考えております。 今後も奨学金利用者の大学等での学びが中断することがないように、財政状況を見極め、奨学基金の活用も含め、財源の確保に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	(3)奨学基金を外部に移すことについて 【教育長室】
質問要旨	先日、信託銀行と民間企業が一般社団法人にて資産運用し、奨学金を組成する検討が開始されたとの報道がありました。港区奨学基金を外部に移し、個人や企業から寄付を募り、そこに一般財源を支出することで給付型奨学金の原資とすることについて、教育長の見解を伺います。
答弁内容	区に代わって区民を対象とした民間の奨学基金を設立するためには、公益的な目的を持ち、継続的かつ安定的な資金力や運営体制を有する法人の確保が不可欠です。 また、民間の基金に区の財源を拠出することについては、様々な検討が必要と考えます。 給付型奨学金の財源について、効果的な確保策の検討を進める中で、民間の奨学基金や他自治体の事例を調査し、研究を行ってまいります。

議員名(会派名)	さいき 陽平議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	3 少子化対策と子育て支援について (1)見守りシステムについて 【学務課】
質問要旨	防犯ブザーについて、子どもの安全と親の安心の双方を実現できるニーズのある機能が付加された見守りシステムへアップデートしていただきたいと思いますが、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、登下校中の児童の安全を守るため、小学校の新入学児童に対して防犯ブザーを配布しております。 防犯ブザーの配布から20年が経過し、GPS等ICT技術を活用した様々な見守りシステムが普及していることから、教育委員会では、ICT技術を活用した、より効果的で効率的な新たな見守りシステムの導入を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)地域の特色を生かした国際理解教育について 【教育人事企画課】
質問要旨	港区には80以上の大使館が立地しており、大使館との連携を織り交ぜたプログラムとなれば、子どもたちにとって、より強力で唯一無二の学習機会となると考えます。ぜひこうした地域の特色を生かした国際理解教育を進化させていただきたいと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	各小・中学校では、大使館と連携した文化交流や近隣大学の留学生との交流、海外から派遣団の受け入れを行うなど、地域の特色を生かした国際理解教育に取り組んでおります。 本年度、芝浜小学校に韓国の小学6年生が訪れ、児童同士の交流を通して、異文化理解を深めました。また、来年1月には、海外派遣で訪問しているオーストラリアのパス市から、中高生を受け入れ、区立学校に通う児童・生徒の家庭でのホームステイや学校での交流についての準備を進めております。 引き続き、教育委員会は、多くの大使館がある、国際色豊かな区ならではの国際理解教育のさらなる推進に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	4 区立学校の魅力化について (1)進路支援講座の拡充について 【教育人事企画課】
質問要旨	事業の今後の拡充を強く求めますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	今年度から開始した進路支援講座「みんなとゼミナール」は、三田中学校と青山中学校の2校を拠点とし、定員160名のところ、163名の応募がありました。受講している生徒からは、学校の垣根を越え、切磋琢磨しながら学力向上に取り組めるという評価をいただいております。 今後、教育委員会は、学校別の応募状況や出席状況を踏まえ、事業のさらなる改善に向け、成果や課題を検証してまいります。 さらに、生徒を対象に、受講方法についてニーズ調査し、拠点校の拡大や1・2年生の習熟度別講座、夏季休業中の集中講座の実施について検討を進めてまいります。

質問項目 【担当課】	(2)魅力的な部活動の創設について 【教育人事企画課】
質問要旨	公立学校における部活動が生徒たちにとって満足度や教育効果が高まるような取組を、より一層力を入れて取り組んでほしいと考えますが、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、海外留学支援への取組として、本年5月に海外留学に関する区民アンケート御成門学園のダンス部やお台場学園のセーリングヨット部をはじめ、各中学校では、地域の特色を生かし、生徒にとって魅力ある部活動を創設しております。 各部活動では、外部指導員から専門的な指導を受け技能を向上させたり、仲間との人間関係を育んだりすることで、生徒の満足度が高まり、教育効果を上げております。 本年度は、六本木中学校と高陵中学校でダンス部、赤坂学園で軟式野球部とサッカー部が新設されるなど、各中学校の生徒の思いやニーズにあわせて部活動が設立・運営されています。 今後も教育委員会は、地域部活動を拡充するとともに、生徒が自主的・自発的に部活動に取り組む環境を整えてまいります。
質問項目 【担当課】	(3)区立中学校の広報強化について 【学務課】
質問要旨	海外派遣事業、海外修学旅行など、区立中学校ならではの魅力化策が講じられる今、その魅力をさらに高めつつ、それがしっかりと保護者に伝わる広報が重要ではないでしょうか。区立中学校への広報体制を抜本的に強化していただきたいと考えますが、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、中学校合同説明会に替え、児童・生徒と保護者が、個別に都合の良いタイミングで各学校の活動内容等を確認できるよう、ホームページでの紹介動画の掲載や中学校の魅力をPRするリーフレットの作成、SNSを活用した情報発信など、様々な工夫をしております。 今後も、小学校の早い段階から区立中学校の魅力を周知し、選択をしていただけるよう、他自治体の事例も参考にしながら、動画コンテンツや情報発信手法の改善などを行い、区立中学校の魅力を効果的に広報できる取組を進めてまいります。
質問項目 【担当課】	(4)生成AIの教育現場での活用について 【教育指導担当】
質問要旨	教育現場における生成AIの活用について、どのような方針で望まれるか、見解を伺います。
答弁内容	現在、教育委員会では、国の通知に基づき、区立幼稚園・小中学校における教員の生成AIの活用について、ガイドラインの作成を進めております。 具体的には、個人情報については取り扱わないことを前提に、教材や保護者等への文書の作成において、生成AIを活用することで、業務の効率化を図り、教員が子どもたちと向き合う時間を増やすことを想定しております。 今後、ICT担当であるGIGAリーダーが実践した好事例やガイドラインの運用について、教員研修で取り扱い、教員が生成AIを適切に活用できるようにしてまいります。

質問項目 【担当課】	(5)共働き家庭を前提とした学校運営について 【教育指導担当】
質問要旨	新規の施策の取組には相応の人員強化が欠かせないと思います。一般任期付職員採用制度も活用するなど、教育行政の専門職の採用について検討をお願いしたいと思いますが、見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、令和4年度から、特別職の非常勤職員として、文部科学省で勤務経験のある教育情報参事官を配置し、GIGAスクール構想の実現に向け、専門的な知見を活用してまいりました。 また、令和5年度から、学級運営支援講師を配置し、各学校に対し、学級の安定的な運営に向け、指導・助言を行っております。 今後も、教育委員会は、多様化する教育課題に迅速に対応するために、ICT教育や国際理解教育に関して見識が高い非常勤職員や会計年度職員の活用など、教育行政の専門家の採用について検討を進めてまいります。

議員名(会派名)	白石 さと美(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	3 児童・生徒の教育相談の充実について (1)スクールカウンセラーについて 【教育指導担当】
質問要旨	スクールカウンセラーをより効果的に活用していくために週2日という非常勤であっても、スクールカウンセラーと学校と区が話し合い、より子どもとの信頼関係を築きやすい体制づくりや、保護者や教職員が相談しやすい体制を目指していただきたいと思いますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	現在、各学校では、スクールカウンセラーの役割や取組に関する定期的なお知らせや保護者会での直接の紹介などにより、子どもや保護者が相談しやすい環境を整えております。 また、スクールカウンセラーは、継続的に相談している児童・生徒と休み時間や給食などの日常生活でも密接に関わり、より深い関係の構築に努めております。 今後は、このような取組を実施していくことに加え、学校、教育委員会、スクールカウンセラーが一堂に会する連絡会で、教職員との継続的な相談により、いじめの未然防止につながった好事例などを共有するとともに、学校のホームページやX(エックス)を通じて、スクールカウンセラーの積極的な活用を保護者に呼び掛けてまいります。
質問項目 【担当課】	3 児童・生徒の教育相談の充実について (2)スクールソーシャルワーカーについて 【教育指導担当】
質問要旨	非常に需要の高いスクールソーシャルワーカーですが、現状の委託事業の配置設定では時間が不足していることは明確です。支援を必要としている方に正確にアプローチすることができるようスクールソーシャルワーカーの配置時間を増やし、増員を行っていくべきと考えますが、教育長の考えを伺います。
答弁内容	令和5年度からスクールソーシャルワーカーを全校に週1回3時間配置したことで、学校からは、不登校やいじめなどの支援に効果があると報告を受けております。 教育委員会は、全校配置の効果性を踏まえ、家庭と関係機関をつなぎ、より緊密な支援ができるようスクールソーシャルワーカーを増員し、週1回当たりの配置時間を増やすことを検討してまいります。

議員名(会派名)	池田 たけし議員(公明党議員団)
質問項目【担当課】	10 外国にルーツを持つ児童・生徒へのICT活用について 【教育指導担当】
質問要旨	改正教科書バリアフリー法を踏まえて、外国にルーツを持つ児童生徒へのICT活用について、どのように取り組まれるつもりか、教育長に伺います。
答弁内容	現在、各小・中学校では、児童・生徒の実態に応じて、タブレット端末の文章読み上げ機能や読んでいる箇所のハイライト表示などを活用し、授業を行っております。 今後、教育委員会では、文部科学省が推奨する外国にルーツをもつ児童・生徒にも理解しやすい教科書音声データを各学校に提供し、文字を読むことの負担を軽減するとともに、正確な読み方で語彙を増やしていけるよう取り組んでまいります。

議員名(会派名)	兵藤 ゆうこ議員(立憲民主党議員団)
質問項目【担当課】	13 金融教育について 【教育指導担当】
質問要旨	児童生徒が自由な発想でお金について考え、今後の人生において、お金を自由に扱い、人生で大切なものとする考えを学ぶ機会を与える事は素晴らしい授業だと感じました。このような自由な発想を生む金融教育について教育長の見解を伺います。
答弁内容	子どもたちがお金について学び、考えることは、将来、社会の中で生きていく上で、重要であると考えております。 現在、小学校6年生では、税務署の職員を招き、租税の仕組みについて学習する租税教室を実施し、中学校では、社会科で市場と経済の仕組み、家庭科で金銭管理に関する学習等を行っております。 また、子どもたちが身近にお金の成り立ちや使い方を考えることができるよう、地元金融機関や消費者センター等と連携し、授業を実施している学校もあります。 引き続き、学習指導要領を踏まえ、子どもたちが様々な意見を出し合い、主体的に学び考えることができる金融教育を各学校が実施できるよう、地域資源の活用や企業との連携などの支援を進めてまいります。

一般質問(9問)

議員名(会派名)	三田 あきら議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	2 子ども、子育て及び教育について (1)保幼小の連携について 【教育人事企画課】
質問要旨	保幼小の連携に関して、現状の港区の取組状況や課題をどのように考え、今後どのような取組を行っていくのか、教育長の考えを伺います。
答弁内容	教育委員会では、小学校の学区ごとに保幼小の連携の体制を整え、保育士・教員の相互理解や、子どもに関する情報共有を行っております。連携をとおして、子ども同士の交流活動が進む一方、幼児教育から小学校教育への学びのつながりに関する理解が、保育士・教員個々に異なることが課題となっております。 こうした課題を踏まえ、教育委員会では、国の手引きを参考に、5歳児から1年生の架け橋期2年間の「小学校入学前教育カリキュラム」を、令和7年4月からの実施に向け、年内に改訂してまいります。そして、来年1月に改訂の意図や小学校教育への円滑な接続について周知するシンポジウム、2月にカリキュラムを具体的に教育活動につなげる教員研修会を実施してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)フリースクールに通学する子どもに対する支援について 【教育指導担当】
質問要旨	区長の所信表明において、フリースクールに通学する子どもへの支援を行っていくとのことでしたが、具体的にどのような支援を行っていく予定なのか、お聞きします。
答弁内容	現在、学校では、フリースクールに通う子どもの通学や生活の状況を保護者やフリースクールと共有し、学習状況に応じて出席と認めることで、子どもの進路選択の幅を広げ、社会的自立に向けた自信を育てています。 今後は、この取組に加え、フリースクールへの通学に関する実態のより丁寧な把握に努め、実態を踏まえた子どもや保護者への支援策について検討を進めてまいります。
質問項目 【担当課】	6 神宮外苑イチョウ並木の名勝指定の協議を継続することについて 【図書文化財課】
質問要旨	明治神宮とは名勝指定について協議を継続していくことの同意を得ているとのことですが、一人に対して行政機関である区が協議を要請し続けていくというのは、所有権者の意思を尊重するということと相反することになると考えます。教育長の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会は、昨年6月に所有者である明治神宮を訪問した際、区に寄せられた陳情書の趣旨や名勝指定の手続きなどを説明し、イチョウ並木の名勝指定についての協議を継続することの必要性に、ご理解をいただいております。 神宮外苑では、今後、十数年にわたり再開発が行われることから、所有者の意思を尊重しながら、名勝指定の協議を継続してまいります。

議員名(会派名)	やなぎわ 亜紀議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	6 区立幼稚園の預かり保育について 【学務課】
質問要旨	区立幼稚園の預かり保育については、どのような利用者を想定しているのか。預かり保育の拡大をもって、親の就労の有無に関わらず誰もが利用できるこども園というのであれば、全世帯が区立幼稚園も選択肢となるよう、保育園の標準時間と同等までに拡大はされないのか。港区立幼稚園の預かり保育の利用者負担についてはどのように考えているのか。3点まとめてお聞きします。
答弁内容	まず、利用者については、これまでの預かり時間や日数では区立幼稚園への就園が叶わなかった共働き家庭等の新たな利用を想定しております。 次に、預かり時間を保育園の標準時間と同等まで拡大することについては、今後、利用者の需要を精査するとともに、職員の確保等の課題を整理していく必要があります。 最後に、利用者負担については、事業実施に要する経費や私立幼稚園における預かり保育の利用額とのバランスを踏まえ、検討してまいります。

質問項目 【担当課】	9 中高一貫教育校について 【教育人事企画課】
質問要旨	区は中高一貫教育校について、どのようにとらえているのか。現在の検討状況について伺います。
答弁内容	<p>区立中高一貫教育校については、区の実態や保護者のニーズに応じた特色ある教育課程の編成が可能となるなど、「教育の港区」を一層推進するものと捉えております。</p> <p>実現に当たっては、多岐に渡る視点からの検討が必要です。教育委員会は、6月に東京都教育委員会に対し、中高一貫教育校設置に当たっての必要な手続きやその進め方について確認いたしました。</p> <p>さらに、7月には、千代田区立九段中等教育学校の設置者である千代田区の教育委員会を訪問し、設置までの経緯や実際の運営などについて、ヒアリングを行いました。</p> <p>引き続き様々な情報を収集し、今年度内に立ち上げるプロジェクトチームで検討を進めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	10 学校の通知表について 【教育指導担当】
質問要旨	学校の通知表について、各学期ごとに渡されるものと思っていたが、学校の判断で前期と後期の2回の学校もあると聞いた。子どもの気づきや成長のためにも、全学校で3回通知表をいただけるよう検討していただきたいが、見解を伺います。
答弁内容	<p>現在、区立小学校では、校長の経営方針のもと、通知表の回数や配付時期を含めた評価方法について定めております。</p> <p>学期末に通知表で評価を伝えていない学校では、面談などで児童の学習評価や生活の様子について保護者に伝え、個々の成長に向けて目標を確認しております。</p> <p>今後、教育委員会は、校長会と連携しながら、学期ごとの通知表の在り方や評価の方法などについて検討を進めてまいります。</p>

議員名(会派名)	新藤 加菜議員(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	3 国際人育成のための教育について 【教育人事企画課】
質問要旨	海外修学旅行に行き、学びを深め、多様な価値観を育むためにも、日本の歴史を教える機会をもっと設けるべきだと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、国際理解教育を進めるにあたって、言語の習得や異文化理解のみならず、自国の伝統・文化について学ぶ機会の充実も取組の柱としています。</p> <p>学校においては、社会科をはじめ国語、美術、音楽などのあらゆる教科で、日頃から我が国の歴史や文化に対する理解を深めております。</p> <p>また、校外学習では、鎌倉や小田原城などの古都や文化財を訪問しており、体験的に歴史や文化を理解する機会を設けております。</p> <p>今回の海外修学旅行でも一部のプログラムでは、多面的・多角的に我が国の歴史や文化を理解する契機となりました。海外修学旅行に参加した生徒の中には、戦禍を超えて友好的な関係を築いている今日に思いを馳せたり、日本の食文化の豊かさを認識したりするなど、平和を尊び自国を誇りに思う気持ちが芽生えた生徒もおります。</p> <p>今後も、教育委員会は、学習指導要領に沿って歴史学習に取り組むよう各校に指導するとともに、校外学習や教科学習において、自国の歴史を学ぶ機会を充実してまいります。</p>

議員名(会派名)	なかね 大議員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	4 都立特別支援学校を利用した放課後等デイサービスの実施について 【教育指導担当】
質問要旨	港区在住の子どもたちが通う特別支援学校は、東京都が設置者であるため、放課後等デイサービスなどの事業を区の裁量で実施することはできません。障がい児の放課後の居場所づくりのために、都立特別支援学校を利用できるよう東京都に働きかけていただきたいと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	現在、区と東京都は、意見交換の場で、特別支援学校への就学や保護者ニーズなどの情報を共有し、特別支援学校に通う児童・生徒が安心して生活できるよう支援に努めております。教育委員会では、このような場において、特別支援学校を活用した放課後の居場所づくりを求める区民の声、実情を設置者である東京都に伝えてまいります。

議員名(会派名)	福島 宏子議員(共産党議員団)
質問項目 【担当課】	9 海外修学旅行の検証について 【教育人事企画課】
質問要旨	主人公である生徒が何を感じたのか、しっかりと検証することが重要です。①生徒から率直な意見を聞くこと、②参加した3年生が良かったと思ったこと、良くないと思ったこと、これから課題と思うこと、③参加できなかった生徒の不参加の理由、④保護者には修学旅行にあたって費用がいくらかかったのか、⑤先生には良かったこと、良くないこと、これからの課題等、個人が特定されないような配慮をもって実施すること、それぞれ答弁を求めます。
答弁内容	まず、生徒から意見を聞くことについては、6月、7月に実施した6校で意識調査や事後学習を実施しており、海外修学旅行やそのプログラムに対する意見などを学校ごとにまとめております。次に、参加した生徒の意識調査では、英語を学習することへの意欲が向上したこと、異文化への理解が深まったことが明らかになりました。課題としては、現地の説明員の英語が難しいなど、プログラムの内容についての意見が挙がりました。次に、不参加の理由については、不登校、体調不良、集団での宿泊行事への不安でした。次に、保護者負担については、当初の予定とおり、各家庭から5万円を徴収しております。その他、パスポートの取得費用など、家庭ごとの状況により負担額は異なります。最後に、引率した教員の意見では、主な成果として、英語によるコミュニケーション機会の創出、生徒の異文化・多様性への理解、主体性・積極性の高まりなどが挙がりました。課題としては、現地での暑さ対策などが寄せられています。引き続き、教育委員会は、9月に実施する4校を含めた、全ての学校の生徒、保護者、教員の声を丁寧に聞きながら検証を行ってまいります。

教 育 長 室

令和5年度 決算特別委員会の総括質問について
(教育長答弁)

総括質問 (16問)

土屋 準委員 (自民党議員団)

- 22 小中一貫教育について 【教育人事企画課】
23 国際理解教育について 【教育指導担当】

石渡 ゆきこ委員 (みなと未来会議)

- 4 インクルーシブ教育について 【教育指導担当】
6 学校施設における男子児童用トイレのプライバシー確保について
【学校施設担当】
11 教育行政に係る法務相談体制について 【教育指導担当】

榎本 茂議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

- 4 教科書採択について 【教育指導担当】
5 海外修学旅行について
(1) 修学旅行の方面について 【教育人事企画課】
(2) 納税者の意見を聞くことについて 【教育人事企画課】
6 都立高校受験の評定について 【教育指導担当】
7 区立中学校のブランド力の向上について 【教育人事企画課】

なかね 大委員 (公明党議員団)

- 7 港区版どこでも運動場について 【生涯学習スポーツ振興課】
8 副籍交流について 【教育指導担当】
9 不登校児童・生徒の学習成果の評価について 【教育指導担当】

山野井 つよし委員 (立憲民主党議員団)

- 7 神宮外苑イチョウ並木の名勝指定について 【図書文化財課】
8 区外への屋外スポーツ施設の創設について 【生涯学習スポーツ振興課】

福島 宏子委員 (共産党議員団)

- 11 私立学校等に通う児童・生徒の保護者に区立小中学校の給食費相当額を
助成することについて 【教育長室】

令和5年度 決算特別委員会の総括質問について

総括質問(16問)

委員名(会派名)	土屋準委員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	22 小中一貫教育について 【教育人事企画課】
質問要旨	最近では小中一貫教育よりも中高一貫教育を求める声も上がっています。一方、小中一貫教育を進めるならば、むしろ、海外の高等学校と連携し、区立中学校を卒業したら海外の高等学校に進学できる道も開けないかという意見もあります。今後の小中一貫教育・中高一貫教育をどのように考えるのか、伺います。
答弁内容	教育委員会では、平成24年度から中学校通学区域の幼小中の教員で組織するアカデミーを立ち上げるとともに、小中一貫教育校の開設により、教育課程の連続性を確保し、学力の向上や豊かな心の育成などを図ってまいりました。 今後、教育委員会は、事務局内に立ち上げたPT(プロジェクトチーム)でこれまでの小中一貫教育の成果を確認してまいります。また、中高一貫教育の検討を進めていく中で、区として望ましい小中一貫教育、中高一貫教育の在り方について明らかにしてまいります。
質問項目 【担当課】	23 国際理解教育について 【教育人事企画課】
質問要旨	港区は、これまで他自治体に先駆けて、様々な国際理解教育を進めてきました。こうした取組は、他の自治体には類を見ないほどで、港区の大きな特色となっており注目されるところです。今後の国際理解教育をどのように考えるか伺います。
答弁内容	教育委員会では、国際理解教育を重点的な施策として、区独自の先進的な取組を進めてまいりました。 小学校の「国際科」、中学校の「英語科国際」の授業、ネイティブティーチャーの常駐派遣など、長年にわたる取組は学校に定着し、確かな英語力向上につながっています。 来年度以降は、これまでの成果を踏まえ、「英語によるコミュニケーション能力の向上」、「異文化に触れる体験」、「自国の歴史や文化の理解」の3つの視点で、港区ならではの国際理解教育を体系化し、幼少期から中学校まで一貫した国際理解教育プログラムを構築することで、国際社会で活躍できる「真の国際人」の育成を図ってまいります。

委員名(会派名)	石渡 ゆきこ委員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	4 インクルーシブ教育について 【教育指導担当】
質問要旨	区長の方針に「インクルーシブな教育環境を整備」というのがあります。区において、今後は具体的にどのように環境整備を進めていくのでしょうか。進捗を伺います。
答弁内容	<p>現在、各学校では、インクルーシブ教育の理念の基、障害の有無に関わらず、ともに学び、お互いを尊重し合う教育活動を推進しております。</p> <p>具体的には、特別支援学級の児童・生徒が、無理なく参加できる授業や学校行事を通して、通常の学級の児童・生徒と交流を深める活動を実施しております。</p> <p>また、通常の学級に在籍する発達に特性のある児童・生徒が、集団の中で仲間とともに、学習できるよう支援を行っております。</p> <p>引き続き、人員体制の充実を図り、特別な配慮を要する全ての児童・生徒が、個の能力を最大限に伸ばしながら成長できるよう環境の整備に努めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	6 学校施設における男子児童用トイレのプライバシー確保について 【学校施設担当】
質問要旨	公立校のトイレ問題、特に男子トイレが個人の尊厳をあまり考慮していない配置や設計になっていることについて、改善を求めてきましたが、進捗を伺います。
答弁内容	<p>次に、学校施設における男子児童用トイレのプライバシー確保についてのお尋ねです。</p> <p>ご指摘いただいた男子トイレについては、学校と調整の上、仕切り板を設けるなど、プライバシー確保への応急的な対応を実施いたしました。</p> <p>また、老朽化への対応や明るく清潔な環境を確保するだけでなく、プライバシーにも配慮したトイレとするため、レイアウト変更を含む設計作業を現在行っており、令和7年度から夏休み期間を活用した改修工事を実施してまいります。</p> <p>今後も、各学校において、子どもたちが安心して利用できるトイレへの改修を計画的に進めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	11 教育行政に係る法務相談体制について 【教育指導担当】
質問要旨	教職員の負担軽減という観点から、学校や教育委員会の代理人となりうる弁護士の活用について、地区法曹や弁護士会と連携し、法務相談体制の整備に取り組むべきと考えますが、見解を伺います。
答弁内容	<p>現在、教育委員会では、各幼稚園、小・中学校における法律問題等に、学校担当弁護士が専門的立場から指導・助言を行う学校法律相談を実施しております。</p> <p>各幼稚園、小・中学校では、訴訟などの事案に発展することを防ぐとともに、必要に応じて学校担当弁護士が保護者との面談に立ち会うなど、問題の早期解決に役立て、円滑な学校運営を行っております。</p> <p>引き続き、教育委員会は、各幼稚園、小・中学校が問題解決に向けて保護者と直接話をする際、学校担当弁護士の同席を積極的に活用できるよう周知してまいります。代理人としての活用については、港法曹界と連携しながら、すでに実施している自治体の状況等を調査してまいります。</p>

委員名(会派名)	榎本 茂議員(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目【担当課】	4 教科書採択について 【教育指導担当】
質問要旨	採択された歴史教科書が他の教科書と比べ、具体的に、どの点が文部科学省の求める「我が国の歴史に対する愛情ある歴史教育」に沿ったものであるとお考えでしょうか。具体例を挙げてお答えください。
答弁内容	<p>学習指導要領では、我が国の歴史に対する愛情は、歴史に関わる諸事象についての多面的・多角的な考察や深い理解を通じた日々の積み重ねによって育まれるものであるとされております。</p> <p>一例を挙げますと、今回採択をした東京書籍の教科書は、「第二次世界大戦と日本」の単元において、大戦と人類への惨禍について学ぶとともに、日本が戦争に突入した経緯を様々な出来事を視点にして、日本、他国それぞれの立場から考え、まとめる活動を取り入れております。</p> <p>このように、多面的・多角的な視点から歴史的事象について考えを深め、我が国の歴史に対する愛情を育むことができると考えております。</p>
質問項目【担当課】	5 海外修学旅行について (1)修学旅行の方面について 【教育人事企画課】
質問要旨	来年の修学旅行先として、シンガポール一択で決めることには反対します。日本の古都や、複数の選択肢の中から、あらためて選びべきです。ご答弁ください。
答弁内容	<p>海外修学旅行は、英語によるコミュニケーション能力の向上や異文化への直接体験などを目的に、これまで各中学校で実施していた修学旅行に代わって行うものであり、日本とは異なる地で実施することが重要です。</p> <p>海外での候補地については、生徒への負担や現地での治安などを鑑み、複数の候補地からシンガポールといたしました。</p> <p>来年度、日本の古都で実施することは予定しておりませんが、引き続き、平和教育に限らず、日本と現地の違いを多面的・多角的に捉えることができるよう、事前・事後学習の一層の充実に取り組んでまいります。</p>
質問項目【担当課】	5 海外修学旅行について (2)納税者の意見を聞くことについて 【教育人事企画課】
質問要旨	もし、海外の修学旅行に行く場合は、行く子どもや保護者の意見だけでなく、納税者の意見を広く聞くべきだと思います。区民が直接意見を教育委員会に対して言える公聴会も開くべきです。回答ください。
答弁内容	<p>海外修学旅行については、生徒、保護者、教員を対象としたアンケート調査のみならず、広聴・区民の声センターなどを通して多くの区民の方からの意見を聴取してまいりました。</p> <p>今後、海外修学旅行に限った公聴会を設けることは予定しておりませんが、教育施策に係る計画等の説明会などで直接意見を聴取し、海外修学旅行の一層の充実につなげてまいります。</p>

質問項目 【担当課】	6 都立高校受験の評定について 【教育指導担当】
質問要旨	<p>塾の指導において、優秀な子どもは上位校の推薦を得たかったら港区から引っ越しを考えると書かれているのです。本当の評価の実態がどうかということではなく、このようなことが塾の分析の結果、常識として広まっていることが問題なのです。港区の子育て人口のうち、中学校の世代の人口が減少している一つの要因ともいえると思っています。このことについて、どのように考えるのか、対策をどのように講じていくのか、教育長の考えを伺います。</p>
答弁内容	<p>現在、各中学校では、学校ごとに定めた評価基準や評価材料などをもとに、ある基準に対する到達度で評価をする「絶対評価」を実施しております。</p> <p>また、年度当初の保護者会や最初の授業において、評価方法について丁寧に説明する機会を設けております。</p> <p>学校ごとに評価が実施されているため、自治体単位で評定がつきにくい、評定がつきやすいといった状況はないと考えております。</p> <p>引き続き、教育委員会は、適正で信頼される評価の推進に向け、生徒・保護者との共通理解のもと評価を実施するよう各中学校を指導してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	7 区立中学校のブランド力の向上について 【教育人事企画課】
質問要旨	<p>区の公教育の信用を取り戻し、区の教育におけるブランド力をあげるためにも、区長掲げていらっしゃる区立中高一貫校プロジェクトは絶対に必要だと思いました。教育委員会におかれましては、真剣にスピード感を持って取り組んでいただきたい。このプロジェクトは区の公教育の尊厳をかけた挑戦です。教育長の考えを伺います。</p>
答弁内容	<p>今年度、教育委員会では、事務局内に中高一貫校PTを立ち上げ、一貫校を設置している千代田区の教育委員会を訪問し、設置に至るまでの経緯や実際の運営などについて、ヒアリングを行いました。</p> <p>今後のPTでは、実際に千代田区立九段中等教育学校を訪問し、校長からの聞き取りや施設の状況を見学することを通して、一つ一つの課題の解決を目指してまいります。</p> <p>また、設置の前提となる東京都との協議に向け、教員の採用や学校施設の確保など、多岐にわたる視点から実現に向けた検討を進めてまいります。</p>

委員名(会派名)	なかね 大委員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	7 港区版どこでも運動場について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	どこでも運動場について、令和6年度予算特別委員会の答弁で「渋谷区の実現状況も参考にしながら、関係機関や区長部局とも情報を共有し、調査研究してまいります。」とありましたが、その後の進捗状況についてお聞かせください。
答弁内容	<p>本事業について渋谷区にヒアリングを行ったところ、渋谷区では、町会や保護者のグループなど地域住民の発案を契機に、地域の主体的な取組を区が支援する事業として実施しているとのことでした。</p> <p>港区では、各地域のスポーツ推進委員が主体となり、学校の校庭等で、年間を通じて誰もが参加できるスポーツ教室などのイベントを実施し、スポーツを通じた住民間の交流促進や地域の活性化を図っており、教育委員会もそうした取組を支援しております。</p> <p>また、現在、教育委員会では、休日に区立小学校の校庭等を遊び場として開放しており、ボール遊びやバドミントンなどの運動のほか、けん玉やベーゴマ、羽根つきなど昔遊びを体験するイベントも開催し、幼児・児童が楽しみながら思いきり体を動かせる機会を創出しております。</p> <p>引き続き、区民の主体的な取組を周知、支援していくとともに、今後は、遊び場開放事業におけるイベントの充実や、事業対象の中高生までの拡大を検討するなど、区民が身近な場所で気軽に体を動かせる場の創出につなげてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	8 副籍交流について 【教育指導担当】
質問要旨	副席交流をより活発化させるため、区としてどのように取り組んでいかれるのか、教育長に伺います。
答弁内容	<p>現在、各学校では、いじめの早期発見、不登校の未然防止を図るためタブレット端末を活用し、毎年、6月と11月に子どもたちの自己肯定感や学級への所属感を調査しております。また、毎月、学校生活アンケートを実施し、児童・生徒一人ひとりの実態を丁寧に把握しております。</p> <p>さらに、教育委員会では、みなと保健所と連携し、タブレット端末でのメンタルチェックシステム「こころの温度計」の活用について検討しております。</p> <p>引き続き、様々なツールの効果を見極めながら、いじめや不登校の未然防止策の強化を進めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	9 不登校児童・生徒の学習成果の評価について 【教育指導担当】
質問要旨	区として、不登校児童生徒の学習成果の評価に関する既存の取組をさらに拡充し、より包括的かつ多様な学びを支援するために、今後どのような新たな施策や連携体制の強化を図る予定でしょうか。
答弁内容	<p>各学校では、これまで不登校の児童・生徒に対し、自宅でできる課題やオンライン学習の状況、フリースクールなどの関係機関での学習状況により、個々に応じた学習の成果を評価してまいりました。</p> <p>今後、教育委員会では、区が配備するオンライン教材の活用やフリースクールと連携した取組を推奨するとともに、あらためて教員研修を通して、不登校の児童・生徒の評価を進めてまいります。</p> <p>さらに、来年度開設する学びの多様化学校では、通常の学校と同様に学習成果や状況に応じて確実に評価できることも児童・生徒や保護者を含め広く周知してまいります。</p>

委員名(会派名)	山野井 つよし委員(立憲民主党議員団)
質問項目【担当課】	7 神宮外苑イチヨウ並木の名勝指定について 【図書文化財課】
質問要旨	イチヨウ並木の名勝指定について、所有者である明治神宮に対し、改めて働きかけていただきたいですが、教育長の考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会は、昨年6月に所有者である明治神宮を訪問し、これまで、約100年にわたり、イチヨウ並木を適切に維持管理してきたこと、今後、周辺で再開発が行われる中にあっても、着実に守り続けることを確認しております。 明治神宮とは、名勝指定についての協議を継続していくことの同意を得ていることから、イチヨウ並木の一部がまたがる新宿区や東京都とも意見交換をしながら、今後も協議を継続してまいります。
質問項目【担当課】	8 区外への屋外スポーツ施設の創設について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	区内でサッカー場、野球場やテニスコートを確保することが難しい港区においては、区外に屋外スポーツ施設を設置する必要性は高いのではないのでしょうか。区外に屋外スポーツ施設を設置していくことについて、教育長のお考えをお伺いします。
答弁内容	教育委員会では、現時点で、区外に屋外スポーツ施設を設置する計画はございませんが、民間事業者からの借り上げにより、区外での運動施設の確保に努めております。 引き続き、区内スポーツ団体等のニーズを捉えながら、連携企業や大学が所有する運動施設の利用について協力依頼を行っていくとともに、全国の連携自治体にある運動施設の合宿などでの利用の可能性について情報収集するなど、区民がスポーツをする場所の確保に向け、様々な手法により取り組んでまいります。

委員名(会派名)	福島 宏子委員(共産党議員団)
質問項目【担当課】	11 私立学校等に通う児童・生徒の保護者に区立小中学校の給食費相当額を助成することについて 【教育長室】
質問要旨	私立学校等に通う児童・生徒の保護者に給食費相当分を支給すること。答弁を求めます。
答弁内容	教育委員会では、教育にかかる保護者の負担を継続的に軽減することを目的に、学校設置者として、区立小・中学校給食費を不徴収にしております。 私立小・中学校の児童・生徒の保護者への支援については、子どもへの総合的な支援の在り方を検討する中で、慎重に判断してまいります。